

学科通信(G) 【第9号】

◇活躍の夏

夏休みが終わり数週間が経過し、生活リズムも戻ってきたころでしょうか。8月の下旬はダリア班の東北大会での活躍、そして先日は新人戦での1・2年生の活躍など、様々なシーンで頑張りをみることができました。

ダリア班で東北大会に参加した生徒の話を聞くと、「満足のいく発表ができました」と全員が話してくれました。しかし、言葉と表情が合っていないとか、どこか悔しさを隠しているとか、そんな印象も受けました。悔しいのは当然です。悔しさを隠す必要はないです。内に秘めるのが損なときもあります。存分に悔しがって、今回の経験を糧にして次の目標を目指して行ってほしいと思います。「来年はくまモンに会う」を合言葉に、来年度の全国大会熊本大会へ向け頑張っていきましょう。ダリア班だけでなく、G科全員で高め合っていけると良いですね。

3年生にとって高校生活は残り半年、2年生は高校生活の折り返し、1年生も色々と落ち着いてきたころかなと思います。全員に活躍の場が用意されているということが農業高校の良さです。隠したり、隠れたりせず、自分の良さを発揮して、多くの人に自分の良い部分をたくさん見てもらってほしいと思います。ぐずぐずしているとあっという間に時間が過ぎていきますよ。ちゃんと焦ってくださいね。

◇3年生、頑張れ

明日から3年生の就職試験が始まります。緊張している人も多くいることでしょう。就職希望ではなくとも、誰かが試験を受けたという話を聞くと、進学希望の人も浮かれた気持ちではいられなくなってきました。3年生を応援していく環境をみんなで作ってほしいと思います。

思えば2年と少し前、学科長の齋藤は今の3年生と同じタイミングで置農にやってきました。コロナの影響で入学式が遅れたので、少しだけ君たちが来るのが遅かったことを覚えています。絶対的に不自由が多い二年半だったと思いますが、その中でも君たちは確実に成長してくれました。出荷基準は余裕で満たしています。

面接では緊張するだろうし、作文も上手に書くことができるか心配だと思います。でも大丈夫です。それは君たちだけではありません。みんな同じ気持ちで試験に臨んでいます。「あの人できそうな人だなあ」と目に映ると思いますが、君たちがそう見えるのと同じように、その人から見ても君たちは「できそうな人だなあ」と映ります。だから大丈夫です。大丈夫。とはいえ、試験には頑張ったで賞的なものないし、これから生きていく社会においてもそんなものはありません。よく準備してください。これくらいでいいや、と思わずにできることを全部してください。自分の試験、自分の人生、誰かに責任を取らせるようなことはしないでね。良い報告を待っています。0915 文責 齋藤

